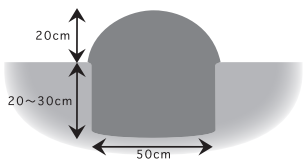


本紙はご自由にお持ち帰り下さい

サツマイモの上手な作り方

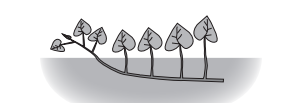
1 土作り

- ①定植の2週間前
苦土石灰をまいてよく耕します。(1㎡に100g)
- ②定植の1週間前
堆肥と肥料を混ぜてよく耕し、畝を作りませ。(1㎡に堆肥3L・肥料100g)
- ③畝はイモの成る場所を確保するため、20~30cmほど深耕して下さい。

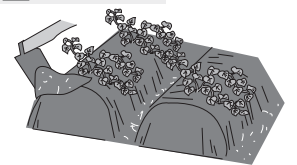


2 定植

- ④3~4節を植え付けます。株間30cmほどで土中6~7cmの一定の深さになるように植えます。過乾燥にならないように注意しましょう。イモ数も多く、揃った大きさのイモができます。



3 追肥・土寄せ



- ⑤8月ごろになってつるが伸びてきたら、畝間にリン酸・カリ成分の多い化成肥料や草木灰を施します。窒素成分が多すぎると葉ばかりが茂ってイモの生育が悪くなるので注意しましょう。
- ⑥肥料を施した後は、除草を兼ねて軽く根元に土をかぶせ、土寄せします。

4 収穫



- ⑦本格的な収穫時期は10~11月ごろです。霜の降りる前に掘り起こします。前日にあらかじめつるを刈り取っておき、よく晴れた日に収穫します。

【上手な苗とり法】

- ポット苗をプランターなどで育てます。
- 葉が7~8枚になったら芯を摘みます。
- 側枝が伸びたら7~8節で切り取ります。この側枝がイモの付く苗になります。
- うまく育てると5~10本の苗(側枝)が採れます。

【つる返し】

7~8月にはつるが旺盛に伸びるのでイモが出来る部分以外の根をはがします。

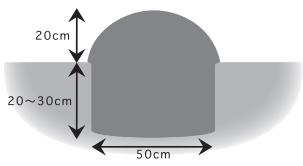


本紙はご自由にお持ち帰り下さい

サツマイモの上手な作り方

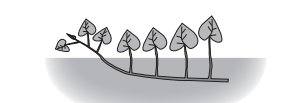
1 土作り

- ①定植の2週間前
苦土石灰をまいてよく耕します。(1㎡に100g)
- ②定植の1週間前
堆肥と肥料を混ぜてよく耕し、畝を作りませ。(1㎡に堆肥3L・肥料100g)
- ③畝はイモの成る場所を確保するため、20~30cmほど深耕して下さい。

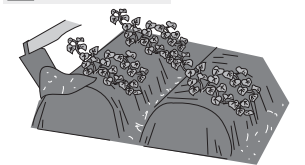


2 定植

- ④3~4節を植え付けます。株間30cmほどで土中6~7cmの一定の深さになるように植えます。過乾燥にならないように注意しましょう。イモ数も多く、揃った大きさのイモができます。



3 追肥・土寄せ



- ⑤8月ごろになってつるが伸びてきたら、畝間にリン酸・カリ成分の多い化成肥料や草木灰を施します。窒素成分が多すぎると葉ばかりが茂ってイモの生育が悪くなるので注意しましょう。
- ⑥肥料を施した後は、除草を兼ねて軽く根元に土をかぶせ、土寄せします。

4 収穫



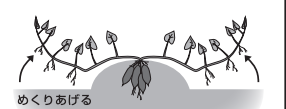
- ⑦本格的な収穫時期は10~11月ごろです。霜の降りる前に掘り起こします。前日にあらかじめつるを刈り取っておき、よく晴れた日に収穫します。

【上手な苗とり法】

- ポット苗をプランターなどで育てます。
- 葉が7~8枚になったら芯を摘みます。
- 側枝が伸びたら7~8節で切り取ります。この側枝がイモの付く苗になります。
- うまく育てると5~10本の苗(側枝)が採れます。

【つる返し】

7~8月にはつるが旺盛に伸びるのでイモが出来る部分以外の根をはがします。

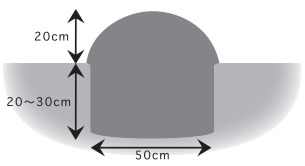


本紙はご自由にお持ち帰り下さい

サツマイモの上手な作り方

1 土作り

- ①定植の2週間前
苦土石灰をまいてよく耕します。(1㎡に100g)
- ②定植の1週間前
堆肥と肥料を混ぜてよく耕し、畝を作りませ。(1㎡に堆肥3L・肥料100g)
- ③畝はイモの成る場所を確保するため、20~30cmほど深耕して下さい。

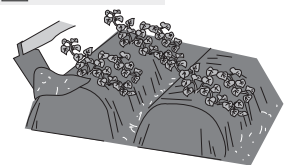


2 定植

- ④3~4節を植え付けます。株間30cmほどで土中6~7cmの一定の深さになるように植えます。過乾燥にならないように注意しましょう。イモ数も多く、揃った大きさのイモができます。



3 追肥・土寄せ



- ⑤8月ごろになってつるが伸びてきたら、畝間にリン酸・カリ成分の多い化成肥料や草木灰を施します。窒素成分が多すぎると葉ばかりが茂ってイモの生育が悪くなるので注意しましょう。
- ⑥肥料を施した後は、除草を兼ねて軽く根元に土をかぶせ、土寄せします。

4 収穫



- ⑦本格的な収穫時期は10~11月ごろです。霜の降りる前に掘り起こします。前日にあらかじめつるを刈り取っておき、よく晴れた日に収穫します。

【上手な苗とり法】

- ポット苗をプランターなどで育てます。
- 葉が7~8枚になったら芯を摘みます。
- 側枝が伸びたら7~8節で切り取ります。この側枝がイモの付く苗になります。
- うまく育てると5~10本の苗(側枝)が採れます。

【つる返し】

7~8月にはつるが旺盛に伸びるのでイモが出来る部分以外の根をはがします。

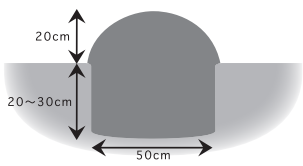


本紙はご自由にお持ち帰り下さい

サツマイモの上手な作り方

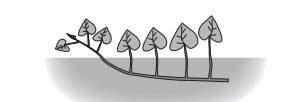
1 土作り

- ①定植の2週間前
苦土石灰をまいてよく耕します。(1㎡に100g)
- ②定植の1週間前
堆肥と肥料を混ぜてよく耕し、畝を作りませ。(1㎡に堆肥3L・肥料100g)
- ③畝はイモの成る場所を確保するため、20~30cmほど深耕して下さい。

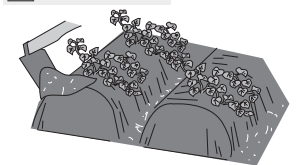


2 定植

- ④3~4節を植え付けます。株間30cmほどで土中6~7cmの一定の深さになるように植えます。過乾燥にならないように注意しましょう。イモ数も多く、揃った大きさのイモができます。



3 追肥・土寄せ



- ⑤8月ごろになってつるが伸びてきたら、畝間にリン酸・カリ成分の多い化成肥料や草木灰を施します。窒素成分が多すぎると葉ばかりが茂ってイモの生育が悪くなるので注意しましょう。
- ⑥肥料を施した後は、除草を兼ねて軽く根元に土をかぶせ、土寄せします。

4 収穫



- ⑦本格的な収穫時期は10~11月ごろです。霜の降りる前に掘り起こします。前日にあらかじめつるを刈り取っておき、よく晴れた日に収穫します。

【上手な苗とり法】

- ポット苗をプランターなどで育てます。
- 葉が7~8枚になったら芯を摘みます。
- 側枝が伸びたら7~8節で切り取ります。この側枝がイモの付く苗になります。
- うまく育てると5~10本の苗(側枝)が採れます。

【つる返し】

7~8月にはつるが旺盛に伸びるのでイモが出来る部分以外の根をはがします。

